



姫路市北部農山村地域活性化基本計画

～環境と共生し、姫路市民の生命と暮らしを支え、
温かくふれあえる元気な農林水産業の実現～

平成 30 年（2018 年）3 月

姫路市

目 次

第 1 章	計画の必要性について	1
1-1	これまでの経緯	1
1-2	北部農山村地域を取り巻く社会情勢	2
1-3	北部農山村地域の魅力と課題	3
1-4	計画の必要性・意義	5
第 2 章	計画の基本的な考え方	6
2-1	計画の前提・枠組み	6
2-2	北部農山村地域のめざす姿	8
2-3	基本方針	9
第 3 章	施策の展開方向	10
3-1	3つの視点からの展開	10
2-3-2	流域からの視点	20
第 4 章	地域活性化に向けたアクションプログラム	23
4-1	重点プロジェクトの選定	23
第 5 章	推進体制	29

第1章 計画の必要性について

1-1 これまでの経緯

本市は、平成18年（2006年）3月に周辺4町（家島町、夢前町、香寺町及び安富町）と合併し豊かな自然環境と多彩な農林水産等の地域資源を有することとなりました。

しかし、全国的な動向と同様に、担い手の高齢化が進んだことや人口減少、貿易の自由化による安価な輸入物の増加等により農林水産業は打撃を受け、特に、夢前町や安富町の中山間地域では集落の活力が失われつつあり、深刻な状況になりつつあります。

一方で、このような状況においても、徐々にではありますが、意欲的な農林水産業の担い手が出てきており、その活動に期待が寄せられています。

農山村部と都市部に加え、世界文化遺産・国宝姫路城をはじめとする観光資源を有するなど、様々な特徴を併せ持つ本市のアドバンテージを活かし、主に夢前町及び安富町の区域を「北部農山村地域」と定義し、地域が主体的な取り組みを通して北部農山村地域の活性化を図るためのビジョンを構想として取りまとめました。

姫路市北部農山村地域活性化基本計画は、こうした資産をさらに磨き、北部農山村地域の価値を高めて将来へ引き継いでいくことで、活力のある地域の発展へとつなげていくための計画です。



図 北部農山村地域の位置

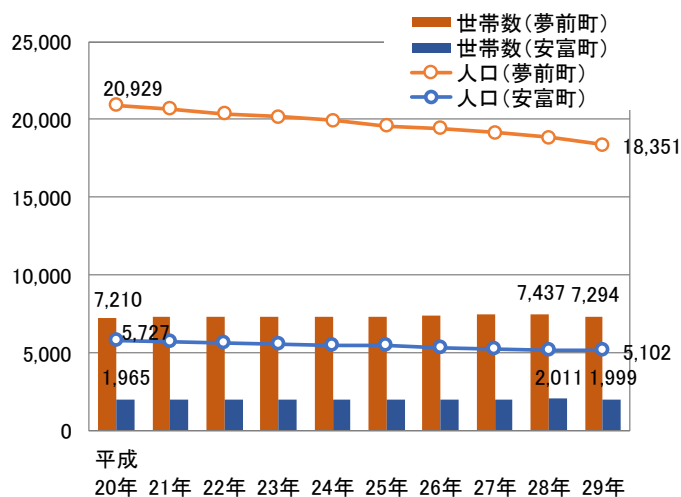
年 度	検討の経緯
平成 25 年度	各地域審議会議題（北部地域の活性化について）
平成 26 年度	北部農山村地域活性化調査
平成 27～28 年度	北部農山村地域活性化構想策定
平成 29～30 年度	北部農山村地域活性化基本計画策定

1-2 北部農山村地域を取り巻く社会情勢

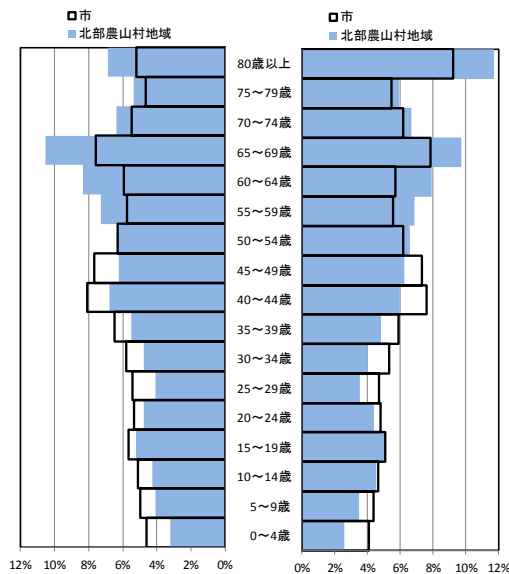
(1) 人口・世帯

夢前町、安富町ともに、人口は減少傾向にあり、10年間で10%減少しています。また、世帯数については、微増傾向にありましたが、平成28年から平成29年にかけて減少に転じています。

5歳階級別人口の構成比を市全体と比較すると、少子・高齢化が進んでいることがうかがえます。



出典:住民基本台帳登録人口(各年3月31日)

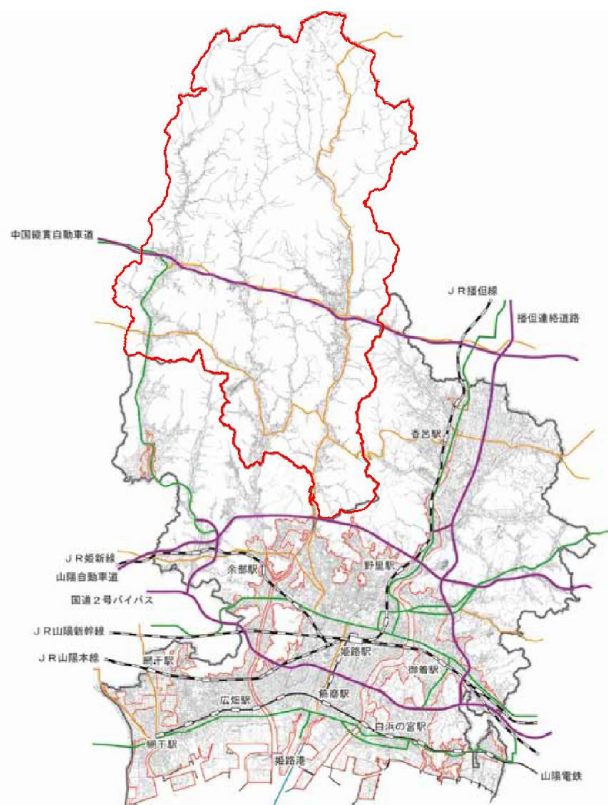


出典:住民基本台帳登録人口(平成29年3月31日)

(2) 交通

姫路市中心部から北部農山村地域へは車で約1時間の距離にありますが、通勤時間帯の交通渋滞が慢性化しています。

また、北部農山村地域の南側には山陽自動車道、中央部を中国自動車道が東西に走っており、山陽自動車道に山陽姫路東IC、山陽姫路西IC、中国自動車道に夢前スマートICが設置されています。



1－3 北部農山村地域の魅力と課題

1 北部農山村地域の地域資源

※構想の 21、21 頁を整理

2 北部農山村地域の課題

(1) 担い手不足

人口減少と高齢化が進行しており、地域産業である農業や林業の担い手が不足するとともに、祭りなど伝統文化の維持や継承も困難となりつつあります。

地方創生の流れのなかで、U I Jターンにより農山村地域への移住ニーズも高まりつつあることから、移住者が集落に溶け込むことができるよう、受け入れ体制を構築することが必要です。

(2) 自然環境の保全

北部農山村地域の豊かな自然環境を維持していくため、適切な森林整備や河川活用などの施策を講じていく必要があります。

また、シカやイノシシ等の有害鳥獣による農業被害も甚大となっており、これらに対する対策強化も必要です。

(3) 農林業の活性化

豊かな農林産物を安定的に市内外へ供給するために、販路の開拓・拡大や流通の効率化を模索する必要があります。

また、個性ある農林産物の更なる高付加価値化に向けて、6次産業化等の取り組みを強化する必要があります。

(4) 公共交通の充実

中山間地域においては、公共交通空白地域もあることから、今後の更なる高齢化を見据え、新しい公共交通のあり方を検討することが必要です。

(5) 空き家の増加

人口減少に伴い、空き家が増加しつつあります。適切に維持・管理されていない空き家は、美しい農山村景観を阻害する要因ともなります。適切な維持・管理の促進とともに、空き家の発生抑制や利活用に向けた取り組みが必要です。

(6) 地域全体での連携強化・情報発信

北部農山村地域には、魅力的な資源が多く、個々では特徴のある活動が展開されていますが、地域全体での連携・情報発信が不足しています。

北部農山村地域としてのブランドイメージの向上に向けて、担い手を核として、事業者（企業を含む）及び関係団体との様々な連携強化や情報共有等を促すことが必要です。

1-4 計画の必要性・意義

北部農山村地域は、農林産物の宝庫として、今後も適地適作による需要に応じた安定的な農産物の供給機能を強化するとともに、地域の特色を活かした取り組み等、付加価値を高めていくことが重要です。

また、農産物の供給機能以外にも、田園景観や古き佇まいなどの魅力ある風景や、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の確保など、多面的な機能を有しており、その恵みは市街地の住民も含め、市域全体に及んでいます。

北部農山村地域が有するこれらの資源を、姫路市民共有の財産としてとらえ、北部農山村地域の課題解決、地域の活性化に向けて、「オール姫路市」で取り組むため、目指すべき新たな地域づくりを進めるための方向性を示した「北部農山村地域活性化構想」を策定しました。

この構想で示した新たな地域づくりをすみやかに推し進めるためには、北部農山村地域の明確な目標像や、その目標像を実現していくための道筋を示した計画が必要となることから、「北部農山村地域活性化計画」を策定します。

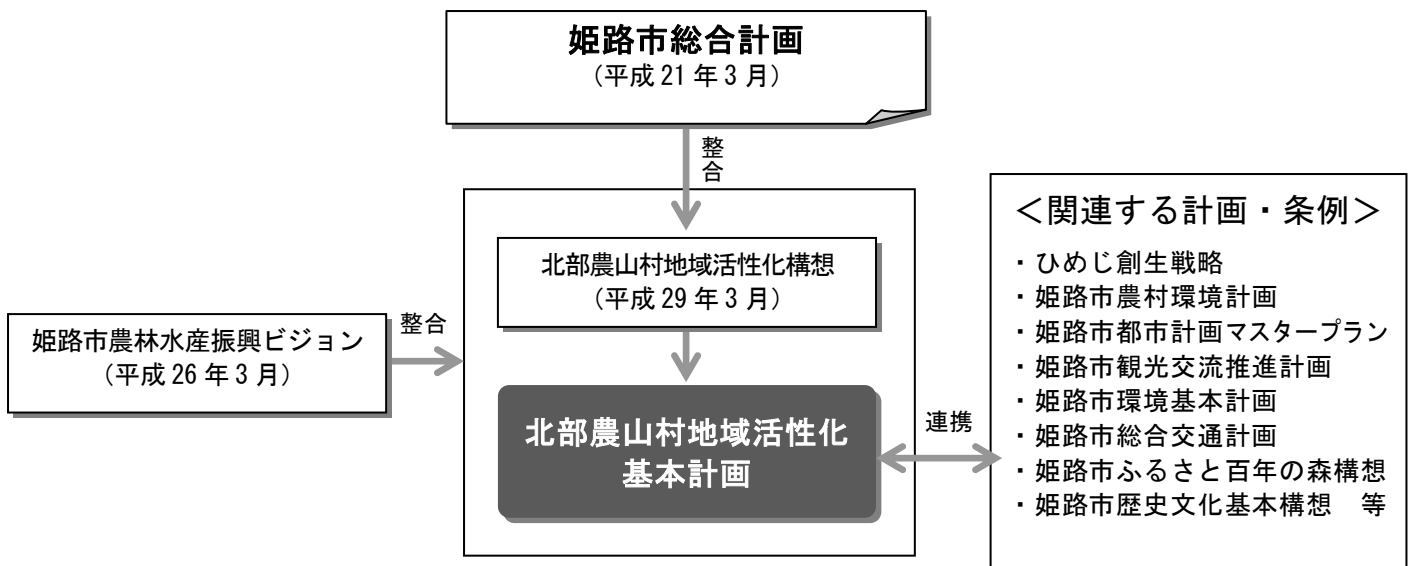
第2章 計画の基本的な考え方

2-1 計画の前提・枠組み

(1) 計画の位置づけ

本計画は、姫路市総合計画を上位計画とし、姫路市農林水産振興ビジョンとも整合を図りながら、北部農山村地域活性化構想に基づき、その実現に向けた具体的な取組を掲げる計画です。

関連する計画とも連携を図りながら、北部農山村地域の課題解消と活性化のため、今後この計画に基づき年次ごとに段階的な取組を実施していきます。



(2) 計画期間

本計画の計画期間は、構想段階からの前倒しの事業も含め、平成29年度から平成38年度までの10年間とします。

最初の5年を短期、その後の5年を中期、計画期間外を長期と区分し、取り組む施策を整理することとします。

なお、目まぐるしく変化する社会経済情勢の変化に適切に対応するため、随時見直しを行い、更新を行うこととします。

年度	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39~
北部農山村地域活性化構想	概ね10年後を見据えた構想										
北部農山村地域活性化基本計画	短期					中期					長期

(3) 計画の全体構成

姫路市北部農山村地域活性化基本計画 全体構成

1章 計画の必要性について

- 1-1 これまでの経緯
- 1-2 北部農山村地域を取り巻く社会情勢
- 1-3 北部農山村地域の魅力と課題
- 1-4 計画の必要性・意義

2章 計画の基本的な考え方

- 2-1 計画の前提・枠組み
 - ・各種計画（構想、農林水産ビジョン等）との関係性、計画の位置づけ、計画期間等を整理
- 2-2 北部農山村地域のめざす姿
 - ・構想を踏まえながら、計画を実現することにより、どのような地域を目指すのかを設定
- 2-3 基本方針
 - ・構想や上位関連計画を踏まえ、基本方針を設定

3章 施策の展開方向

- 3-1 施策の展開方向
 - ① 3つの視点からの展開（経済的視点・社会的視点・空間的視点）
 - ② 流域によるゾーニングからの展開（林田川流域・菅生川流域・夢前川流域）
- 3-2 計画の体系（展開する施策の整理）
 - ・めざす姿・基本方針・施策の展開方向などについて体系図として整理

4章 地域活性化に向けたアクションプログラム

- 4-1 重点プロジェクト
 - ・地域の熟度や喫緊性、取り組みやすさ、他の事業に与える相乗効果等を考慮し、優先して取り組むべき事業等を整理
- 4-2 アクションプログラム
 - ・重点プロジェクトごとに、事業計画（アクションプログラム）を作成

5章 推進体制

- 5-1 計画推進体制の整備
 - ・地域との連携体制、庁内の連携体制、国や県等との連携体制について整理
- 5-2 計画の点検・評価
 - ・P D C Aサイクル、進捗管理の仕組みについて整理

2-2 北部農山村地域のめざす姿

市街地から近く、別世界のように広がる農の風景や樹林の緑、潤いあふれる水辺の風景が、北部農山村地域の大きな魅力です。それは同時に市民のみならず、市外からの来訪者の方々にとっても貴重な資産です。

こうした空間は、時代が変化する中で健全に維持することが難しくなっています。

あらゆる意味で北部農山村地域に関わる多様な人々が担い手となり、相互の連携・協働によって、農地を含む自然や伝統文化を守り育むとともに、地域の魅力を高め、将来に引き継いでいくことが必要です。

これらの取り組みを通じて、上位計画である「姫路市農林水産業振興ビジョン」に掲げる農林水産業・農山漁村の将来像『環境と共生し、姫路市民の生命と暮らしを支え、温かくふれあえる元気な農林水産業の実現』を目指します。

～環境と共生し、姫路市民の生命と暮らしを支え、
温かくふれあえる元気な農林水産業の実現～

2-3 基本方針

姫路市北部農山村地域活性化構想の施策の方向（3つの視点）を踏まえるとともに、着実な計画の推進に向けて、以下の3つを基本方針と2つの基本方針の進め方を定めます。

姫路市北部農山村地域活性化構想

施策の方向

- 1 安定した農林業の振興
(経済的視点)
- 2 持続可能なコミュニティの形成
(社会的視点)
- 3 地域独自の魅力を反映する
農山村空間の再生 (空間的視点)

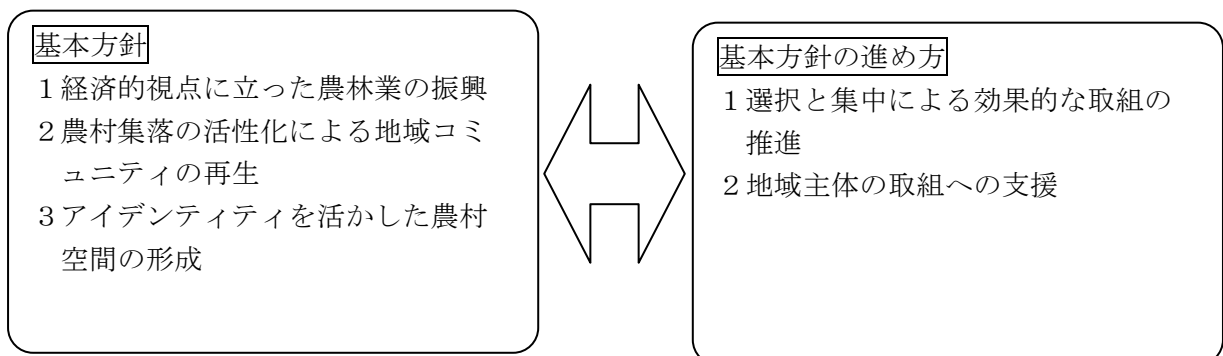
基本方針 1 経済的視点に立った農林業の振興

基本方針 2 農村集落の活性化による地域コミュニティの再生

基本方針 3 アイデンティティを活かした農村空間の形成

基本方針の進め方 1 選択と集中による効果的な取組の推進

基本方針の進め方 2 地域主体の取組への支援



第3章 施策の展開方向

3-1 3つの視点からの展開

1 安定した農林業の振興（経済的視点）

（1）特色ある農産物の充実

① 特色ある農産物の生産振興

施策名	短期	中期	長期
伝統野菜の発掘（調査・育成）			
地域の気候を活かした農産物の生産調整			
個性ある農畜産物を多様に組み合わせた販路開拓			

② 付加価値の高い6次産業化の推進

施策名	短期	中期	長期
高付加価値化による6次化への取り組み・異業種交流の促進			

③ 核となる担い手の連携強化

施策名	短期	中期	長期
キーパーソン同士の連携・協力の推進			

④ 鳥獣被害への対応

施策名	短期	中期	長期
捕獲による個体調整と防護柵等の設置推進			
飲食店との連携強化と食材研究			

⑤ 多様なライフスタイルへの農業の取り込み支援

施策名	短期	中期	長期
多様なライフスタイルに対応した農業等に関する情報発信			

(2) 農山村と市街地での販路拡大

① 多角的な「姫そだち」ブランドの活用の推進

施策名	短期	中期	長期
「姫そだち」の取扱店の増加			
飲食店との契約栽培促進、提供農家や農地の斡旋			

② 食と農の魅力発信による観光客の誘致

施策名	短期	中期	長期
農産物ブランド「姫そだち」の強力なPR促進			

③ 異業種連携での生産や販路の拡大

施策名	短期	中期	長期
情報発信による連携促進への支援			
農商工連携を目指したマッチング機会の創出			

④ 地域拠点施設を活かした販路拡大と広域からの観光客の誘客

施策名	短期	中期	長期
魅力ある情報や農産物を購入できる拠点の整備検討			
レンタサイクルプログラムの検討			
地域資源を磨き上げ、宿泊観光ルート化の検討			

⑤ 質を重視した交流人口の取り込み

施策名	短期	中期	長期
リピーターの意見収集などによる顧客分析と情報の受発信			

(3) 森林資源の多角的な活用

① 木のある暮らしへの需要の喚起

施策名	短期	中期	長期
木材の地産地消と6次産業化を多角的に進める方策検討			
伝統的なデザインの採用や市内産材の導入			
公共施設の冷暖房熱源への木質バイオマスの導入の検討			

② 多様な魅力を体験できる情報提供

施策名	短期	中期	長期
幅広い世代を対象としたプログラムの展開の検討			

③ 多様な森林の整備

施策名	短期	中期	長期
里山の奥の森林管理まで適切に実施する仕組みづくり			
「生活環境保全林」として整備			
地域賦存バイオマスのエネルギー化に向けた研究と活用			

④ 林業を担う人材の確保

施策名	短期	中期	長期
林地に放棄された間伐材再利用の仕組みの検討			
間伐ツアーなど、市民自らが森林管理に直接携われる方策の検討			

(4) 農林業の活性化に関する多様な支援策の実施

施策名	短期	中期	長期
新たな農業機械の導入や農業施設整備などの支援施策のPR			
集落営農の法人化に向けた支援			
新規参入の合意形成、作業の効率化など様々な支援方策検討			
若者に対する栽培技術研修、就農体験、就農先の照会等			
学童に対する農業や環境への啓発、農作業体験、食育の推進			

2 持続可能なコミュニティの形成（社会的視点）

（1）多様な地域文化が共有できるコミュニティの形成

① 地域住民による伝統文化の継承

施策名	短期	中期	長期
住民による価値再発見や情報発信活動を支援			
地域の伝統行事や農業の魅力次世代継承等の取り組み支援			

② 将来を考える場づくり

施策名	短期	中期	長期
地域住民主導の計画づくりの場づくり支援			

(2) 住みたい人を柔軟に受け止める弾力性のある仕組みづくり

① U・J・Iターンの促進

施策名	短期	中期	長期
U・J・Iターン施策の取組強化			

② 定住環境の充実

施策名	短期	中期	長期
共同作業や年中行事への参加を促すなど移住者への支援			

③ 地域に係わる空き家活用の推進

- ・ 空き家バンク環境の充実

施策名	短期	中期	長期
空き家バンク環境の充実			

④ 地域の活性化につながる公共交通の検討

- ・ 地域の実情に合った活用アイデア検討

施策名	短期	中期	長期
地域の実情に合った活用アイデア検討			

3 地域独自の魅力を反映する農山村空間の再生（空間的視点）

（1）田園・山村景観の保全

施策名	短期	中期	長期
地域住民と協働で田園景観を次代に伝えていく方策検討			
森林の適切な管理を行うための森林管理のルール化			
魅力ある田園景観を保全するための景観計画の策定検討			
地域を代表する景観を抽出し、保全ルールづくりの検討			

（2）伝統的な住宅建築のデザインの保護

施策名	短期	中期	長期
住宅建築や集落の将来への継承			

（3）河川や花などによる景観創出

施策名	短期	中期	長期
夢前スマートインター周辺のランドマーク化			
夢前川や桜並木の景観や、健康をテーマとした取り組み発信			

2-3-2 流域からの視点

(1) 夢前川・菅生川流域

①夢前川・菅生川流域での“川筋の景観”づくり

施策名	短期	中期	長期
流域の特徴（花）強化と水辺の魅力向上の工夫			

②流域での魅力づくり

施策名	短期	中期	長期
四季を通じて川の魅力を伝える環境学習の充実			
協働の活動を通じたコミュニティの協力体制の充実			

③花街道づくり

施策名	短期	中期	長期
アドバイザー等による考える場の設置と各種支援体制の充実			

④テーマ設定が期待される様々な取り組み

施策名	短期	中期	長期
地域のアイデンティティーの強調			
基礎的なインフラ（駐車場、トイレ等）整備等			

⑤集客拠点の連携

施策名	短期	中期	長期
地域農産物や加工品の販売、伝統料理の提供等			
観光ルート検討を踏まえパンフレット作成			

(2) 林田川流域

① “農の暮らし”をテーマとする林田川流域

施策名	短期	中期	長期
「かかしの里」の地域学習シンボル化			

②多様な魅力を体験できる森林ツーリズム

施策名	短期	中期	長期
小中学生の環境学習のプログラム充実			

③林業の再生と集落景観の連動

施策名	短期	中期	長期
デザインの優れた木工芸品開発、公共施設への積極的な導入等			
伝統的な木造住宅の建築や集落景観の保全方策			

④ゆずの“見える化”

施策名	短期	中期	長期
街道沿いにゆずを植え、景観としての演出			
地産地消の推進を通して“見える化”を積極的に推進			

第4章 地域活性化に向けたアクションプログラム

4-1 重点プロジェクトの選定

施策の展開方向のなかで、基本理念、基本方針の実現に向けて、高い効果をもたらすことが期待でき、かつ北部農山村地域の特徴を活かした施策や緊急に実施する必要がある施策を「重点プロジェクト」と位置づけ、積極的な推進を図ります。

【北部農山村地域の特徴】

- ・

【地域が抱える課題】

- ・ 担い手不足
- ・ 自然環境の保全
- ・ 農林業の活性化
- ・ 公共交通の充実
- ・ 空き家の増加
- ・ 地域全体での連携強化・情報発信

重点プロジェクト案1 経済的視点にある施策から選択（農林部会案件）

重点プロジェクト案2 社会的視点にある施策から選択（コミュニティ部会案件）